

2021(令和3)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2021年5月15日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

各回：交流会（近況報告）、収穫玉ねぎの下処理と梱包作業袋詰め

3. 参加者数 1回目 6人（内訳：当事者1名、家族3名、専門職2名）
フンドウ代表：1名スタッフ配置
2回目 2人（内訳：当事者0名、家族1名、専門職1名）

4. 当日の様子

新型コロナウイルスまん延感染防止対策期間が延長となり、県担当者とギリギリまで開催を検討し、今月も当事者・ご家族が集う楽しみを提供することができました。晴天に恵まれフンドウの畑で収穫した玉ねぎをきれいに選定し、袋詰めする活動を参加者全員で行っています。近況報告では介護にまつわる心の葛藤を吐き出し、施設の使い方や在宅の福祉サービスの活用の仕方などを情報共有しています。前回の意見をもとに今回は、1時間枠内で屋内作業をし、会話は屋内でという工夫がうまく活かされていました。介護の思いや葛藤を受け止め共感していくために、介護者だけの集いの場を設けていくことが必要である事を再度認識したカフェとなりました。またフンドウの活動を紹介するチラシの原案を参加者で確認し意見交換しました。会場での飲食が不可の為、本日はフルーツマフィンをお土産としてお渡しました。

5. 所感

今月も馴染みの方が笑顔で参加することができ、近況報告やコロナ禍での其々の思い、介護の話や悩みを共有・共感されていました。



★次回予定：2021年6月19日(土) 時間：①13時～14時 ②15時～16時 定員：各6 以上